

茅 田 砂 胡 C D プ ッ ク

スカーレット・ウィザード
クライストの贈りもの

茅田砂胡プロジェクト編

立ち読み専用

立ち読み版は製品版の一部を収録したものです。

ページ操作について

- 頁をめくるには、画面上の  (次ページ) をクリックするか、キーボード上の  キーを押して下さい。
- もし、誤操作などで表示画面が頁途中で止まって見にくいときは、上記の操作をすることで正常な表示に戻ることができます。
- 画面は開いたときに最適となるように設定してありますが、設定を変える場合にはズームイン・ズームアウトを使用するか、左下の拡大率で調整して下さい。
- 本書籍の画面解像度には1024×768pixel(XGA)以上を推奨します。



本書をよりお楽しみいただくために、CD「The Guardian」は9ページより始まるコミック「クライストの贈りもの～プロローグ」を先にお読みいただいてから、お聴きください。
また、CDを再生する際は、構成上、収録順にお聴きいただくことをお勧めします。

スカーレット・ウィザード
クライストの贈りもの

Manufactured by CHUOKORON-SHINSHA, INC., Japan.
Unauthorized Copying, Hiring, Lending, Public Performance, Broadcasting and Making Transmittable Of This Record Prohibited.

The
Guardian
Christ



©2015 CHUOKORON-SHINSHA, INC.
©KAYATA SUNAKO / KAYATA SUNAKO PROJECT

Pressed in Hong Kong
STEREO
CNF2-015-01-CD

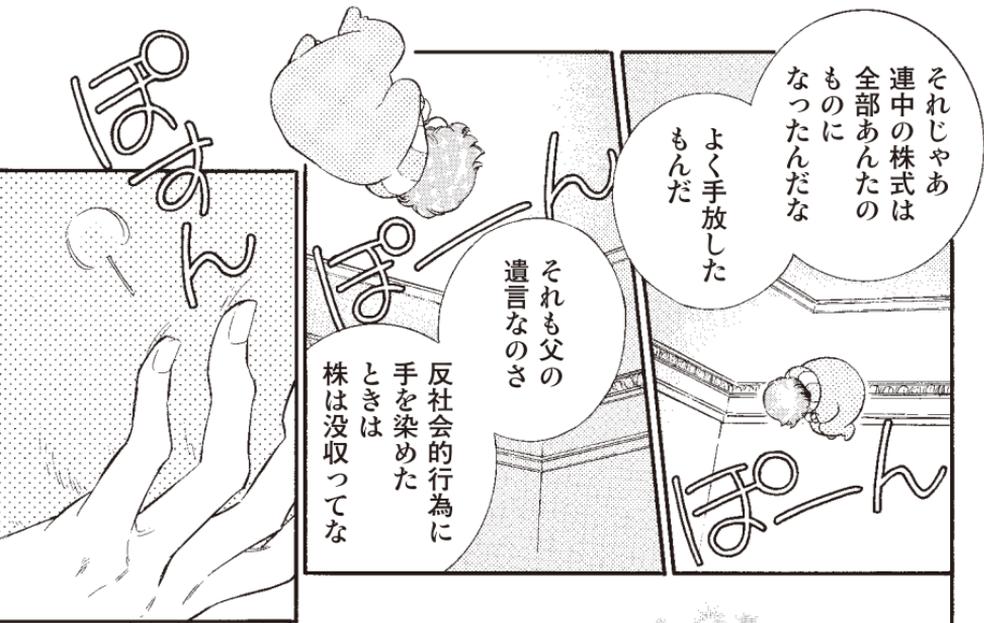


All Rights Of The Manufacturer And Of The Owner Of The Recorded Work Reserved. Unauthorized Copying, Hiring, Lending, Public Performance, Broadcasting and Making Transmittable Of This Record Prohibited.

規格外で破天荒なクーア夫妻が財閥の重役たちの畏にはまり、子どもを奪われてしまった。奪還のために企画されたのは、前代未聞の「映画撮影」という名目の連邦軍と海賊たちの合同作戦だったのだ。これにクライストは（むりやり）スタッフとして協力することになり（させられた、とも言）、かなり相当無茶苦茶な苦労を強いられるはめに。

だがしばらくたったある日、「映画撮影」の後始末に追われる夫妻に、クライストからメッセージが届けられた――





それじゃあ
連中の株式は
全部あんたの
ものに
なったんだな

よく手放した
もんだ

それも父の
遺言なのさ

反社会的行為に
手を染めた
ときは
株は没収つてな

ほん

ほん



五人分の
株式が加わって
あんたの持ち分は
クアア全株式の
84%か

すげえな





事実上の
女王さまだ



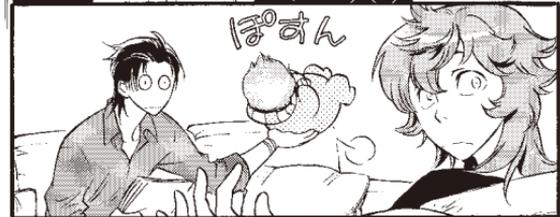
クライストの贈りもの~プロローグ

鈴木理華×茅田砂胡(原案)

ジャスミン!!

ケリー!!

何をしてるんです……!!!



何って……

子どもと遊んでるんだが……

『で子ども

遊んでるの間違いでしょう!!



乳児を投げてはいけません!!

育児書にはそんなこと書いてないぞ

あたりまえです!!!

丈夫なお子さんよねえ

そういう問題じゃないでしょ!!



クライストはいかにして
天才作曲家と
なりしか？



鼎談 茅田砂胡・砂守岳央・松岡美弥子 司会 安藤岳

天才作曲家・クライストの素顔に迫る！

安藤…「スカーレット・ウィザード」シリーズのCDブックも、
無事に第二弾刊行の運びとなりました。今回のドラマCDは「ク
ライストが作ったアルバム」をキャラクターたちが聴く、という
コンセプトですが、ご発案のきっかけをうかがいましょうか。

茅田…以前、砂守さんから、シヨートストーリーのようなものを読んだきましたよね。クラブでケリーとジャスマンを偶然見かけ…という内容の。それを読んで、そういえば「まさに、作中に作曲家が出てくるじゃない」と思い出しまして。

砂守…クライストが脚光を浴びた瞬間！

茅田…それでいいじゃないとなつて、声優さんたちに何を話してもらおう、と考えたときに……。

安藤…「曲を聴いた感想を話している設定はどうでしょう」と申し上げた記憶があります。実際出来上がった曲を茅田さんに聴いていただいて、その後ドラマができていく今回のやり方は、新しいです。

砂守…ヒントが多いほうがわれわれはやりやすいので、茅田さんにご相談しつつ進められるのはありがたいです。

茅田…このやり方を相談されたとき、単純に、「おもしろいんじゃない？」と思いました。

安藤…これから曲を作っていくうえで、クライストの人となりを知りたいと思っています。お聞かせいただけますか。

茅田…彼にとつてケリーとジャスミンとの出会いは衝撃だったと思うんです。ジャスミンは常識から外れた、自分の人生ではあり得ないキャラクターだからこそ、ぜひ曲にせねばと思った。クライストは超絶ナルシストな男ですので、「わたしの溢れんばかりの才能で書かねば！」と。

松岡…わかります。「俺、格好いい」みたいな人、いますよね。

砂守…ある種の自己アピールですね。自身もピアノリストだった作曲家…：リスト（注1）、ショパン（注2）は超絶技巧を使った曲を書いていた。自分の技巧をアピールしたい人が多い気がするな。

松岡…バガニーニ（注3）とかもそう…：ヴァイオリンだけ。

茅田…そういう人たちは繊細で、女々しいイメージがあるけど、クライストは打たれ強い。神経がナイロンザイル。「私を見て！」と常に言っていて、注目されたいタイプです。

安藤…大仰な感じですね。

茅田…彼はジンジャーにも惚れ込んで、「君の出る映画の曲は全部自分が書く。BGMからなにから全部やるよ」と。

砂守…映画音楽の作曲家っぽいですね。

（注1）リスト
フランツ・リスト。ハンガリー生まれの作曲家
ピアノリスト。超絶的な技巧を持ち「ピアノの魔術師」の異名でも知られる。ピアノ曲『超絶技巧練習曲』を作曲したことで有名。

（注2）ショパン
フレデリック・ショパン。ポーランド出身の作曲家、ピアノリスト。作曲のほとんどをピアノ独奏曲が占め、「ピアノの詩人」とも呼ばれる。代表作にエチュード『別れの曲』『革命』など。

（注3）バガニーニ
ニコロ・バガニーニ。イタリア生まれの作曲家、ヴァイオリンリスト。特殊技法を駆使した曲で知られ、そのテクニックは「悪魔に魂を売り渡した代償」と言われるほどだったと伝えられる。

（注4）池頼広
主に劇伴音楽を手がける作曲家。代表作に『相棒』シリーズ、『TIGER & BUNNY』などがある。

安藤…ああ。池頼広^{いけよしひろ}(注4)氏とか都倉俊一^{とくくらしゅんいち}(注5)さんのような。

松岡…クライストは、アーティストの面も強いのでしょうか？

茅田…そうですね。わかる人だけにじやなく、大衆に向けて作ってウケたい。でも気が向かなければ仕事を受けないという。

砂守…ナルシストでも、ウケたいという気持ちはあるんですね。

茅田…世間にアピールしたいんですね。一流に「超」がつく作曲家だと。

安藤…なるほど。ひとりで作業しているのでしうかかね？

茅田…基本はそうだと思います。アルバムを作るとか、コンサートのときには個別に声をかけて集めて、チームを作るんですけど、「この僕のアルバムに参加できるなんて、なんて光栄だろう」くらいのことを言っている。

安藤…お弟子さんは？

茅田…いないでしょうね。でも、友達はいそうですね。ナルシストな文豪とか、監督とか、別業種の同じようなタイプとは交流するんじゃないかと。でも、アレンジは大きな声では言えない趣味。砂守…悪いことでもんね。

(注5) 都倉俊一
作曲家、編曲家。七〇年代にピンク・レディー
や山口百恵などアイドルへの楽曲提供でヒット
を連発した。代表作に「UFO」(どうにもとま
らない)など。

★ご覧いただいた立ち読み用書籍はPDF形式で、作成されています。この続きは書店にてお求めの上、お楽しみください。